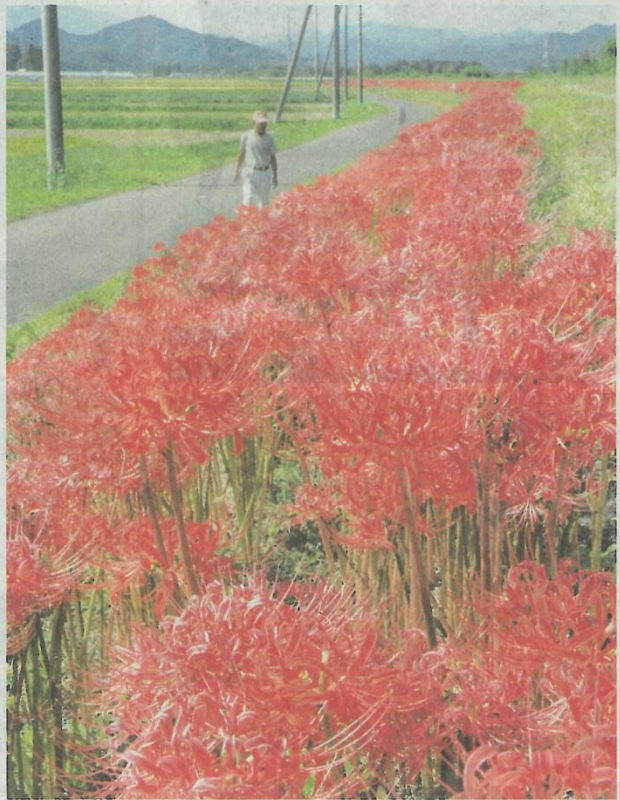


荒川沿いの土手で咲き誇るヒガンバナ



荒川の土手延々 ヒガンバナ満開

塩谷の大久保地区

【塩谷】大久保の荒川沿いの土手でヒガンバナが満

開になり、通り掛かった人が足を止め、花を楽しんでいる。一部はすでに見頃を越えているが、2008年から植栽している住民組織「大久保まちづくり推進委

員会」によると、25日ごろまでは楽しめるという。

ヒガンバナは、大久保橋近くから荒川右岸で約2キロ、左岸で約1キロに渡って咲き誇っている。天気がいと男体山との「共演」も楽しむことができる。

同委員会の和気忠永委員長（73）は「町内でこれだけ多くヒガンバナを見ることができるのはここだけ。通り掛かりに楽しんでほしい」と話している。